

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(令和元年度)

2. 分野別状況(2)地域活性化総合特区 ②ライフ分野 (8/10)

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
群馬がん治療技術地域活性化総合特区 (群馬県)	3.6	4.3 進捗度 ・医療・ヘルスケア産業振興 139% ・医療系人材の育成 100% ・事業化人材の育成 177% 等	3.3 規制の特例等 ・高精度重粒子線がん治療技術開発事業 財政支援等 ・戦略的基盤技術高度化支援事業 ・総合特区支援助金 地域独自の取組 ・医療機器・介護機器等事業化支援補助金 ・医療・ヘルスケア関連事業化支援補助金 等	3.4	<p>・重要なパートナー企業の撤退などの困難に直面しながらも、持ち堪え、地域独自の「ヘルスケア機器開発支援センター」を設けて研究開発から販路開拓まできめ細かい支援の提供、少人数ながら着実な特殊医療系人材の育成に成果をあげていることは評価できる。</p> <p>・規制の特例措置の提案を積極的に行っていることも評価できる。</p> <p>・評価指標を大幅に変更することで、本事業における目標達成やそのプロセスについてのマネジメントを高めようとしていることがうかがえる。</p> <p>・コロナウイルス感染拡大による混乱などの影響も考えられるが、数値目標(1)「治療実施症例数」の着実な成果達成を期待したい。重粒子線の併用療法についても今後臨床応用が進むことが期待される。他方、臨床試験の対象症例が難治がんとされているが、2年間で6例では、安全性の証明でも症例数が少なく期間が長すぎる。効果判定はさらに困難ではないか。</p> <p>・数値目標(2)－①「新規雇用者創出数」が大幅に未達成であるため課題改善が必要である。</p> <p>・既に目標を達成している評価指標(4)－②「医療機器製造登録事業所、製造販売許可業者及びISO13485認証取得数」については、目標の上方修正が必要ではないか。</p>